

平成 29 年度 事業報告書

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人サポネットおごおり

1. 事業の成果

平成 29 年度は、前年度と同様に「相談支援」、「地域活動支援センター I 型」（オープンスペース）、「移送サービス」の 3 部門それぞれに目標と責任分担を明確化して連携しながら活動を行った。8 月末「あすてらす」2 階に事務所が移転し、備品（パソコン・机・業務用システムの更新・書庫・印刷機のリース等）等を整備、専用電話（業務用・FAX 専用）や相談室を設置し、いつでも相談が受けられ即対応が出来る基幹型の相談支援事業所としての体制が出来たかと考える。また、NPO 独自の移送サービスでは新車両を寄付金にて 4 月に購入し、利用者の人たちから乗り心地が良く、乗降もスムーズだと好評である。移送サービス開始 12 年目となるが、市内障害者の移動手段として不可欠な事業となっている。関係機関にも周知され毎月の申請も継続的に行っている。

各部門の内訳として「相談支援」部門は、基幹型相談支援事業所の体制が整い相談支援専門員は 6 名となった。このメンバーで「生活支援事業」「相談支援」「計画相談」「認定調査」「自立支援協議会事務局」「うつ病家族広場」「グローバルネットワークおごおり」「地域交流活動」「地域支援活動」の 9 本立ての活動を行った。今年度の特徴として、月 2 日の閉所日（第 2 日曜日・第 4 水曜日）以外には相談支援専門員が常駐し、基本相談や来所できない人への訪問や同行、会議等をスムーズに行った。また、昨年同様に計画相談件数も増加した為、相談支援専用車を 2 台体制で対応できた事は良かったと思われる。今まで専用相談室がなく、あすてらすや社協の相談室を借用して対応していたが、事務所移転時に専用相談室が出来たことで急な相談や来客、認定調査等に対応できる相談室が出来て、土・日・祭日にも活用しいつでも相談出来ると利用者の人たちに喜ばれている。

「生活支援事業」では、「本人活動支援事業」として各団体の支援や個人活動支援、「ボランティア活動支援事業」として行事へのボランティア要請を行うと共にボランティアの育成を行った。「福祉機器リサイクル事業」では、広報誌や掲示板を利用し、関係機関への周知を行ない、提供 34 件（7 品目 61 点）、譲渡 20 件（7 品目 53 点）のリサイクル斡旋をおこなった。課題としては、リサイクル機器の常設会場がない為、大型の福祉機器は提供者宅に保管したままで、見本がない状態での斡旋になるため、譲渡の調整に時間がかかることが多くあった。

「相談支援」については、6 名の相談支援専門員で 5,203 件（延べ件数）の相談があった。内訳は来所相談 536 件、電話・メール相談 2,224 件、訪問 584 件、同行 315 件、支援会議 96 件、関係機関 1,448 件（全て延べ件数）となっている。

これは相談専門専用車 2 台あり可能となったと考える。

「**計画相談**」は昨年とほぼ変わらず 441 件【内訳、新規 41 件（実人数 41 名）、更新 217 件（実人数 182.名）、モニタリング 183 件（実人数 165 名）】を実施した。計画作成に伴う本人や関係者との支援会議や自宅訪問、更にモニタリング等の事業者訪問や同行等で外出が多くなり、毎月の計画相談件数をセーブしなければ、対応が難しい時もあった。

「**認定調査**」は、3 障害種別 165 名の調査を行った。現在 4 名の調査員で対応しているが、急な調査依頼への対応や調査場所については自宅より施設が多くなり、訪問・同行・支援会議と重ならない為の日程調整に苦慮した。調査員としては、障害種別による専門性の対応が必要であり、5 年先を考え新職員の調査員としての育成を図った。

「**自立支援協議会事務局**」については 10 年目となり、毎月 1 回の「運営会議」の他、「ネットワーク会議」「学校教育連絡会」「各ワーキングチーム」(WT) と実施した。障害当事者を含む市内障害者関係機関による「ネットワーク会議」は、年 3 回開催した。内容として、発達障害についての基礎知識と具体的な対応について 2 回実施した。また、本年度は「相談支援 WT」が発足し「就労 WT」「居宅 WT」「児童 WT」「日中活動 WT」「住まい WT」にて、独自に勉強会(年 3~4 回)を行った。「就労セミナー」(就労 WT 主催) も実施し 71 名の参加があった。「全体会」については年 4 回実施し「第 5 期小郡市障がい福祉計画第 1 期障がい児福祉計画」を策定した。

「**学校教育連絡会**」については、市内保育園・幼稚園、小・中・高校・特別支援学校の先生方や子育て支援課、教育委員会の担当者の参加と児童 WT の担当者にて参加者は 30 名もあり、市内に新設された事業所の紹介や利用方法等の意見交換会を行なった。その後の問い合わせもあり、少しずつ相談窓口が浸透してきたと考えている。

「**うつ病家族広場**」については、平成 22 年 1 月より、毎月 1 回実施している。スタッフはサポネットから 2 名、市福祉課から 1 名。今年は 8 年目となり延べ 56 名の家族の参加があった。今後も形態を考えながら家族のニーズに応えて行きたい。

「**グローバルネットワークおごおり**」で行う障害児の長期休暇中（春休み・夏休み・冬休み）のデイサービス事業は、毎回利用する保護者からは前もって期日の問い合わせが増加し、事業への期待が大きくなるとともに、新しい障害児の参加も多くなってきた。人数が多い場合は、ボランティアの通常 2 名体制を 1~2 名とした為、利用する障害児全員を受け入れることが出来た。

しかし本年度はウインタースクール、スプリングスクールと参加数が減少した。理由として、市内に障害児を受け入れる事業所が増えたため、そちらへの移行が考えられる。

「**地域交流活動**」については、障害児（者）の啓発活動の一環として、市内外からの個人・団体の見学や小・中・高生の実習受け入れや講師派遣を行った。

本年度は、育休職員が復帰した為、社会福祉士・精神保健福祉士資格取得の為の学生現場実習受け入れを実施すると共に、実習指導担当者（社会福祉士・精神保健福祉士）をそれぞれ2名体制とした。

「地域支援活動」についても、小郡市内の各障害者団体との自立支援協議会を通じて連携も密に取れるようになり、その団体に応じたいろいろな支援が出来たと思われる。

次に「地域活動支援センターⅠ型」（オープンスペース）では、常時2名以上の職員を配置し、「いつでも行ける場所」「いつでも相談できる場所」として定着してきた。本年度は、オープンスペース担当職員を相談支援専門員が兼任し、職員と同時に有償ボランティアをお願いし、必ず2名のスタッフ配置とした。平日はもちろん、土・日・祭日には市外（久留米市等）や県外（鳥栖市等）からも来所があり、障害児・者やその家族・知人等、通所施設の利用者や就労している人が気軽に行ける場として、不可欠な場所となっている。

来訪者数は5,198名（延べ人数）だった。市内に障害者施設が増えてきた為か、平日の日中は少なく、事業所が終了した後の利用が多くなる。休日は朝から利用者が非常に多く1日を通して30名以上になることが多い。定例の行事（昼食会・レク会等）への参加は毎月20名~30名ほどあり、オープンスペースが混雑する場合は、あすてらす館内のゾーン（温泉・エントランスホール）を利用して過ごされている。また、男性利用者が多く女性が利用しにくいという事で初めた「レディースデー」は年1回の実施だが好評でその後も平日でもスムーズに女性利用者が入れるようになった。

最後に「小郡市福祉有償運送事業（移送サービス）」については、運転手7名、（専任1名、兼任6名）、車いす対応車両3台体制で行い、無事故・無違反（道路交通法第72条第1項）を続けている。

平成29年度の利用登録者は301名、移送回数は延べ5,767件（昨年より709件増）となり総収益（移送代金と年会費）は4,068,640円となった。

3台体制のため、予約時点で調整を行なうことで早朝の対応も行ない、障害（身体・知的・精神・児童・特定疾患）に応じた対応（介助）にて、安心して乗車して頂けると考える。その反面、維持経費（人件費や燃料費等）もあり、タクシー料金の半額という利用料金では収益は出ず本年度も実質赤字になっている。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動法人に係る事業

定款の事業	事業の内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
障害者の生活支援に係る事業(1)	認定調査事業(面接)	通年 9時～ 17時	調査対象者宅 施設・病院 相談室	6名	障害(児)者 165名	
	生活相談事業(来所)	通年 9時～ 17時	支援センター 相談室	6名	障害(児)者・家族・関係者等 (延べ)536件	
	生活相談事業(電話・メール)	通年 9時～ 17時	支援センター	6名	障害(児)者・家族・関係者等 (延べ)2,207件	
	生活相談事業(同行)	通年 9時～ 17時	市役所・施設・病院等	6名	障害(児)者・家族 (延べ)264件	
	生活相談事業(訪問)	通年 9時～ 17時	自宅・施設・病院等	6名	障害(児)者・家族 (延べ)635件	
	生活相談事業(支援会議)	通年	支援センター 自宅・市福祉課等	6名	障害(児)者・家族・関係者 (延べ)96件	
	生活相談事業(計画相談)	通年 9時～ 17時	自宅・相談室 施設・病院等	6名	障害(児)者 計画相談 441件	
	生活支援活動(オープンスペース利用)	通年 9時～ 17時	支援センター	9名	障害(児)者・家族・ボランティア (延べ)5,198名	
	生活支援活動(昼食会)	月1回 10時～ 13時	あすてらす 調理実習室	9名	障害(児)者・家族・ボランティア 8回(延べ)127名	
	生活支援活動(レクレーション会)	月1回 13時半～ 15時半	あすてらす 多目的ホール	9名	障害(児)者・家族・ボランティア 9回(延べ)142名	
	生活支援活動(クリスマス会)	12/24	あすてらす 多目的ホール	8名	障害(児)者・家族・ボランティア 27名	

	生活支援活動 (お花見会)	3/25	あすてらす	7名	障害(児)者・家族・ボランティア 20名	
	生活支援活動 (レディース デイ)	11/19	あすてらす 研修室	2名	障害(児)者・ボラ ンティア (延べ)8名	
	生活支援活動 (野球観戦)	6/24	福岡ヤフオク ドーム	3名	障害(児)者・家 族・ボランティア 16名	
	生活支援活動 (コミュニティ バスツアー)	8/12	イオン小郡	2名	障害(児)者・家 族・ボランティア 6名	
	生活支援活動 (ボウリング 会)	2/4	楽市楽座 210 久留米店	2名	障害(児)者・家 族・ボランティア (延べ)20名	
	生活支援活動 (忘年会)	11/26	一品香小郡店	9名	障害者・ボランテ ィア 24名	
	生活支援事業 (ふれあいオ リンピック)	10/15	小郡市体育館	2名	障害(児)者・家 族・ボランティア 13名	
	生活支援事業 (うつ病家族 広場)	月1回 13時半 ~15時	あすてらす 研修室1	3名	障害者家族 (延べ)56名	
	生活支援活動 (グローバルネ ットワークお ごおり)	年3回 10日間	あすてらす 多目的ホール 調理実習室等	2名	障害児・ボランテ ィア (延べ)351名	29,291
	小郡市福祉有 償運送事業 (移送サービ ス事業)	随時	小郡市を発着 地とする圏域	7名	障害者手帳所持者 及び登録者 301名 (延べ)5,767件	9,377
障害者への理 解を深める為 の啓発活動に 関する事業(2)	地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	5/1 ~ 24日間	サポネットお ごおり	6名	共生館国際医療カ レッジ相談援助実 習 1名	
	地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	6/6 ~ 25日間	サポネットお ごおり	6名	九州医療専門学校 相談援助実習 1名	

地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	6/14	サポネットお ごおり	6名	三井高校デイサー ビス・デイケア実 習 1名
地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	6/20 ～ 2日間	サポネットお ごおり	6名	きぼうの家実習生 (社会福祉士) 1名
地域交流活動 (見学者への 説明)	6/29	あすてらす 会議室1	6名	小郡市子育て支援 課 10名
地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	7/18 ～ 14日間	サポネットお ごおり	6名	筑紫女学園大学 精神保健福祉援助 実習 1名
地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	7/25 ～ 2日間	サポネットお ごおり	6名	共生館国際医療カ レッジ相談援助実 習 1名
地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	7/27 ～ 2日間	サポネットお ごおり	6名	宝城中学校 職場体験 1名
地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	7/27 ～ 3日間	サポネットお ごおり	6名	三井高校 インターンシップ (延べ)1名
地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	8/2 ～ 2日間	サポネットお ごおり	6名	教職員 10年経験者 社会貢献活動体験研 修員 (延べ)2名
地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	8/11 ～ 24日間	サポネットお ごおり	6名	フチガミ医療福祉 専門学校相談援助 実習 1名
地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	8/14 ～ 16日間	サポネットお ごおり	6名	久留米大学精神保 健福祉援助実習 1名
地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	8/21 ～ 23日間	サポネットお ごおり	6名	久留米大学相談援 助実習 1名
地域交流活動 (見学者への説 明)	8/25	あすてらす 会議室1	6名	大木町社会福祉協 議会 19名

	地域交流活動 (実習生、研修生の受け入れ)	8/29	サポネットお ごおり	6名	社会福祉協議会実 習生(精神保健福 祉士) 1名	
	地域交流活動 (研修会への 講師)	9/26	スプラライフ久 留米	1名	スプラライフ5周年 記念講演会 40名	
	地域交流活動 (研修会への 講師)	10/16 ～ 4日間	東野小学校	1名	東野小学校総合学 習 120名	
	地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	11/9 ～ 2日間	サポネットお ごおり	6名	三国中学校職場体 験 (延べ)2名	
	地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	12/11 ～ 8日間	サポネットお ごおり	6名	九州医療専門学校 精神保健福祉援助 実習 1名	
	地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	2/7 ～ 9日間	サポネットお ごおり	6名	九州医療専門学校 精神保健福祉援助 実習 1名	
	地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	2/13	サポネットお ごおり	6名	きぼうの家実習生 (社会福祉士) 1名	
	地域交流活動 (就労セミナー)	2/13	あすてらす 視聴覚室 会議室3	2名	障害(児)者・家 族・ボランティ ア・関係者 71名	43
障害者団体が 行う上記の (1)(2)の活動 の支援事業	地域支援事業 (イルカの会 例会)	13回	あすてらす 和室・各種教 室等	2名	ボランティア (延べ)4名	
	地域支援事業 (小郡市身体 障害者体育大 会)	5/3	博多の森 陸上競技場	1名	身障協会員・家 族・関係者 (延べ)20名	
	地域支援事業 (身障協ふれ あいオリンピ ック)	10/15	小郡市市民体 育館	2名	身障協会員・家 族・関係者 (延べ)23名	

	地域支援事業 (身障協日帰り旅行サポート)	11/3	荒木観光ホテル	1名	身障協会員・家族・関係者 24名	0
	地域支援事業 (ワークショップ虹会議)	6回	ワークショップ虹	2名	虹職員・精神障害者関係職員 (延べ)48名	
	地域支援事業 (精神障害者地域支援会議)	3回	北筑後保健福祉環境事務所	1名	精神障害者関係職員 (延べ)125名	

(2) その他の事業

定款の事業	事業の内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
	該当なし					